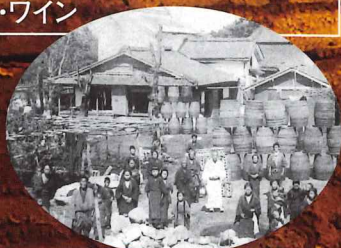


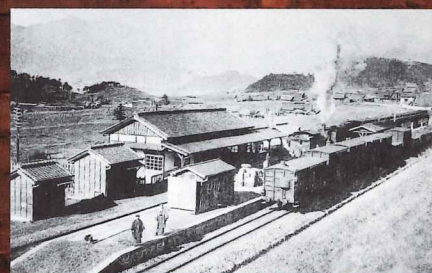
歴史ひと口メモ

中央本線の開通とぶどう・ワイン

明治29年(1896)に始まった中央本線八王子・甲府間の建設工事は、勝沼に国中東部地区の工事事務所が置かれ進められました。明治36年開通後は、とくにぶどうやワインの輸送に大きな影響を与え、地域に流通革命をもたらしました。ぶどうの出荷は東京まで、馬の背に載せ3日から6日かかっていたものがわずか半日で大量に運ぶことができるようになりました。ワインやボトル、樽の輸送についてもさまざまな課題が一举に解消されました。開通当初は勝沼駅は設置されず、出荷に不便であったため、大正2年(1913)に請願駅として勝沼駅が開業されました。その後鉄道を使って観光団を誘致するなど観光事業への先駆的な取り組みも始められました。レンガを使った鉄道トンネルの技術は、ワイン貯蔵庫の建設にも応用され、勝沼町下岩崎に現存する「龍憲セラー」などが造られました。このように鉄道が地域にもたらした産業経済、生活文化への影響は計りしれないものがありました。



宮崎第一醸造場(明治30年代前半)



開設直後の勝沼駅

大日影トンネル 遊歩道の利用案内

●通行時間

- 9:00~16:00(年末年始を除き通行可)
※時間外は入口の扉を施錠します。なお、トンネル内側からは扉が開くので外に出ることは可能です。

●通行上の注意事項

- トンネル内は走らない
(自転車・バイク・スケボー・ローラースケート等では通行禁止)
※トンネル管理のためスタッフは自転車を使用します。
- 危険物品の持ち込み禁止
- トンネル内は歩道を一列通行(歩道に突起物(ベンチマーク)が32箇所あります。足元にはご注意ください。)
- 水路に注意
- 全面禁煙
- ごみ捨て禁止(ペットの排せつ物などの放置も禁止)
- 標識類や器具、壁面等を傷つけない。落書き禁止。
- トンネルは往復40~60分かかります。(ワインカーブ側から勝沼ぶどう郷駅側に向けては緩やかな下りとなっています。)

●緊急時の連絡

- インターホン(16台約80m間隔で設置) ※非常電話のボックス内 受話器を上げれば自動的にスタッフに繋がります。トンネル内は携帯電話の使用が出来ない箇所があります。緊急時にはインターホンをご活用ください。

●その他

- トイレは勝沼ぶどう郷駅とトンネルワインカーブ案内所をご利用ください。
- トンネル内は、監視カメラが稼働しています。
- トンネル内に水滴が落ちてくる箇所があります。通行にはご注意ください。



中央本線大日影トンネルの概要

- 全長 — 1,367.80m
- 幅 — 3.57m~3.74m
- 高さ — 4.90m
- 起工 — 明治30年(1897)
- 貫通 — 明治35年(1902)
- 開通 — 明治36年(1903)
- 電化 — 昭和6年(1931)
- 複線化 — 昭和43年(1968)
※下り線専用トンネルとなる。
- 廃線 — 平成9年(1997)
※時間短縮等のため新トンネル建設に伴い閉鎖
※平成17年JR東日本の厚意により深沢トンネルとともに旧勝沼町に無償譲渡
- 遊歩道化 — 平成19年(2007)3月工事完成
※国土交通省まちづくり交付金で整備

レンガ

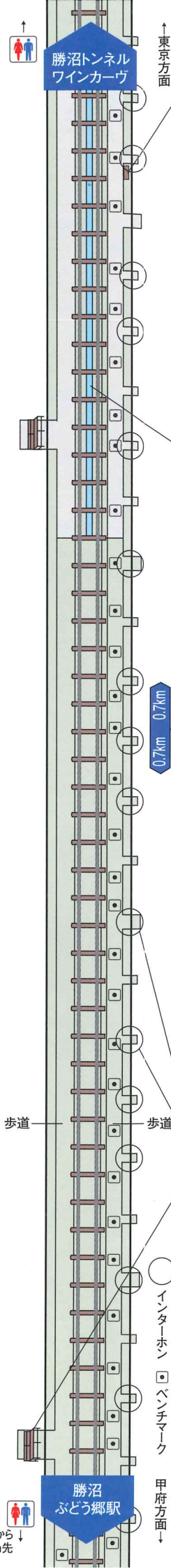
大日影トンネルで使われているレンガは、鉄道建設に伴い牛奥村(現甲州市)に建てられた工場で造られました。英国人の技師の指導で建設されたため、レンガの積み方は一段ごとに縦と横を交互に使う英国式となっています。

煤(すす)

トンネル内には天井部や壁面に黒い煤が付着しています。この煤は昭和6年(1931)に電化されるまで走っていた蒸気機関車の煙突から排煙されたものです。ときどき落ちてくることがありますので、衣服が汚れないように注意してください。

レール

大日影トンネル内部のレールはほとんどが平成9年(1997)まで使っていた当時のままで残されています。両入口付近のレールは歩道工事に併せて深沢トンネル(現トンネルワインカーブ)で使われていたレールを移設し再利用しています。



鉄道標識



トンネル内には鉄道標識がそのまま残されています。東京駅からの距離標(右)、線路の勾配変更を示す勾配標(左)、線路保守用の標示板などのほか、連絡用の沿線電話機も設置されています。

水路

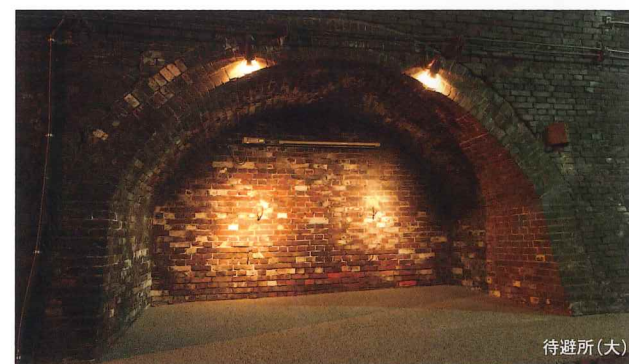
大日影トンネルには深沢口寄りに延長330mの開渠水路があります。笹子トンネルなどにも同様の水路が見られますが、全国的に水路があるトンネルは少ないといえます。この付近は湧水が多く排水のため設置されました。現在も水が流れていますが、水路が黄色く変色しているのはこの付近の水が鉄分を多く含んでいるためです。



中間地点標示板



両側のトンネル出口の大きさが、同じに見えます。



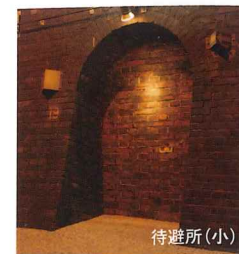
待避所(大)

待避所

大日影トンネルには保線作業員のための待避所が全部で36箇所あります。休憩のできる大きい待避所が2箇所、沿線電話機を設置した所もある中規模の待避所が5箇所、一時的に身を寄せるための小さな待避所が29箇所です。待避所には大日影トンネルや中央本線の歴史などを紹介する説明板が設けられています。



待避所(中)

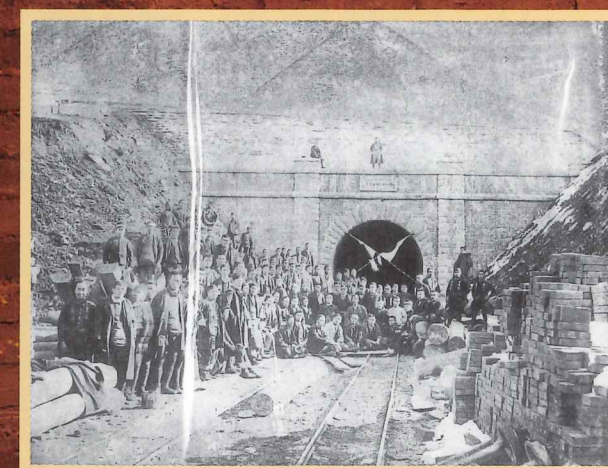


待避所(小)

明治の鉄道遺産

大日影トンネル 遊歩道

歩こう!
自勝沼つみバス



貫通式/明治35年(1902)

〒404-8501 山梨県甲州市塩山上於曾1085番地
甲州市観光商工課 TEL.0553-32-2111 (代)

〒409-1311 山梨県甲州市勝沼町深沢3602-1
勝沼トンネルワインカーブ案内所 TEL.0553-20-4610

甲州市の観光情報は

甲州市観光協会

検索

<http://www.koshu-kankou.jp/>



協力:JR東日本八王子支社

歩こう!
月勝沿フットパス

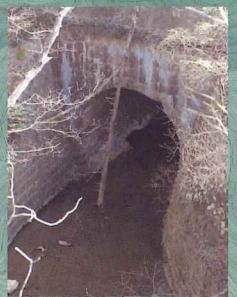
～大日影トンネル版～



勝沼ぶどう郷駅前公園入口に電気機関車EF64-18が展示されています。昭和41年(1966)に製造され平成17年(2006)に引退するまで、中央本線や青梅線、南武線、篠ノ井線などでは活躍、単線當時の中央本線を知る数少ない車両の一つです。平成18年11月JRA貨物より譲り受け、近代産業遺産をめぐるフットバスルートの出発点に鉄道遺産のモニュメントとして置かれています。令和4年2月に全般検査作業工事を行っています。

▲甲州高尾山

勝沼ぶどう郷駅側、入口
手前の斜面にはレンガ水
路があります。建設当時
のまま残されているもの
で、レンガ造りの水路は
今では大変珍しく、ト
ネル同様貴重な鉄道土
木遺産です。



勝沼ぶどう郷駅側の久保沢と深沢口の深沢川には、中央本線建設に伴い造られた河川隧道があります。大日影トンネルと同じ工法、材質を用いており、英国式のレンガ積みで造られています。



バス回転待機所
(大石神社入口
手前100m付近)



大日影トンネルの東京寄りにある長さ1,100mの深沢トンネルは、大日影トンネルと同時に造られました。平成17年5月にワインカーヴとして生まれ変わり、ワイナリーや個人オーナーの貯蔵庫になっています。自然の状態で適温に保たれた環境はワインセラーとして最適です。



勝沼フットパス

～大日影トンネル版モデルコース紹介～

半日コース
(約6km)

駅～大日影トンネル～勝沼堰堤
～ぶどう郷遊歩道～駅

1日コース
(約11km)

駅～大日影トンネル～太郎堰
～次郎堰～勝沼宿～駅

ぶどうの丘コース
(約3km)

駅～ぶどうの丘～駅
～ぶどう郷遊歩道～駅


 深沢(沢楽のみち)コー
 (約3.5km)

勝沼トンネルワインカーヴ↔
深沢集落(大石神社)

●主な見どころ

●ワイナリー

